

寺尾城(群馬県太田市寺井町)(食事処 新田之庄)

治承4年(1180)に源頼朝は伊豆の蛭ヶ小島で平氏打倒のため挙兵した際に、頼朝は、関東の源氏の一門や源氏累代の家人に対して味方を募りました。相模の三浦党や房総の千葉常胤、上総介広常らは味方することを約束し、同じ源氏一門である甲斐の武田氏や上野の足利氏もすぐに呼応をしましたが、新田義重は参陣せず、新田一族独力で平氏打倒の挙兵をして上州寺尾城に兵を集めたと言われています。

「古城めぐり」サイトによる

” 清和源氏八幡太郎義家公嫡孫源義重公が 1157 年この地に本拠を構えて新田の庄司となり新田氏を称して三代 87 年間在城した。” 説明板から。

「群馬県の城」サイトによる

